



公益社団法人 兵庫工業会

理事 加古 泰三
(株式会社カコテクノス)



兵庫工業会 NEWS

2026年 6 月号

発行 / 公益社団法人 兵庫工業会

No.324

激動の時代を 「誇り」と「共創」で輝く未来へ — ■ 巻頭言 ■

現在、我々を取り巻くビジネス環境は、かつてないほどの不確実性に直面しています。中東情勢の緊迫化や長引く円安、そしてインフレ時代の到来は、構造的な変化として我々の経営に深刻な影響を及ぼしています。少子高齢化を背景とした人手不足も、もはや待てば解消されるものではない切実な課題となっています。一方で、大局を見渡せば、日本の基幹産業における大規模な業界再編や事業統合に見られるように、大企業もまた生き残りをかけて変革を急いでいます。まさに今年は、日本経済全体が大きな転換点を迎えているという思いを強くしております。

弊社は拠点をおく兵庫県小野市において、約250名の従業員とともに、鉄道用制御機器や発電機向けの制御装置など、社会の当たり前を支えるインフラ機器の製造に邁進してまいりました。創業から91年、100周年という大きな節目を目前に控える弊社にとって、この長きにわたる歩みは、社会の安全を支えるという責任感の積み重ねに他なりません。しかし、どれほど優れた技術や設備があっても、次の100年へと繋ぎ、磨き上げるのは「人」です。人財不足が深刻化する今だからこそ、私は従業員が辞めずに、この会社を誇りに思える環境づくりが経営の最優先事項であると考えています。

その象徴の一つが、従業員向けリフレッシュ施設「カコテラス」です。多忙な現場の中でも、仲間と語り、心身を整える場所があること。それが従業員の心のゆとりを生み、結果として製品の品質向上や新しいアイデアへと繋がります。「ここで働いてよかった」と心から思える環境こそが、中小企業が生き残るための最大の武器になると信じています。

現在、政府は売上高100億円を目指す中堅企業への成長を後押ししており、中小企業にもよりダイナミックな変化が求められています。しかし、AIやDXといった急速な情報技術の進化に対し、自社グループのみの経営資源で立ち向かうには一筋縄ではいかない側面があるのも事実です。弊社もまた、昨年ニッケグループの一員となりました。これは、単なる経営基盤の強化だけでなく、人財の採用や教育、技術交流といった面でのシナジーを最大化し、この不透明な時代を乗り越えるための共創のステップです。伝統を守りつつも、柔軟に外部との連携を強めることこそが、企業が持続可能な経営を実現するための必須条件ではないでしょうか。

企業は決して経営者と株主だけのものではありません。事業を通じて社会に貢献することはもちろんのこと、そこで働く従業員の成長を促し、安定的な生活を守り抜くこと。これこそが経営の本質であり、私の使命です。兵庫工業会の皆様と共に、この難局をチャンスに変え、次世代へとこのバトンを繋いでいけるよう、誠実に歩みを進めてまいりたいと存じます。

2026年度第1回理事会（書面表決）及び 第67回通常総会を開催

5月12日(火)第1回理事会（書面表決）にて、以下の議案について69名の理事及び3名の監事全員に賛成表決をいただきました。これにより、審議案件は、原案通り全て承認されました。

〈議案〉

第1号議案 2025年度事業報告について

第2号議案 2025年度収支決算について

第3号議案 役員を選任について

第4号議案 会員の入会について

第67回通常総会は5月28日(木)に正会員のうち313会員（委任状を含む）の出席のもと、ホテルオークラ神戸にて開催。三宅俊也会長の開会挨拶に続き、守本豊兵庫副知事に来賓ご挨拶をいただきました。

引き続き、三宅会長が議長となり、以下の議案について審議が行われました。その結果、全ての議案が原案通り承認されました。



三宅会長挨拶



守本副知事挨拶

〈議案〉

第1号議案 2025年度事業報告について

第2号議案 2025年度収支決算について

第3号議案 役員を選任について

第4号議案 年会費の改定について



総会の様子

〈退任役員紹介〉

長年にわたり、ご指導ご鞭撻いただきまして、ありがとうございました。

理 事	安 原 浩 一	アース製薬(株)
〃	豊 嶋 義 富	菱井商事(株)
〃	脇 坂 岳	三菱電機(株) 神戸製作所

◆議案審議の後、2026年度の主な取組み等の説明と第13回産業論文コンクールの表彰式を行いました。

第13回目の受賞者は3名の方々です（後述）。皆様、おめでとうございます。その後、経済産業省 商務情報政策局 サイバーセキュリティ課 企画官の橋本 勝国氏、同係長の小山 智氏より、「経済産業省におけるサイバーセキュリティ施策」の演題でご講演いただいて、第67回通常総会は滞りなく終了いたしました。



講演の様子

新 役 員 紹 介



岡 本 孝 弘

理 事

菱井商事株式会社
代表取締役社長



松 本 功

理 事

三菱電機株式会社
神戸製作所 総務部長

公益社団法人 兵庫工業会 役員名簿

2026年5月28日現在

役職名	氏名	会社名	役職
会長	三宅俊也	株式会社神戸製鋼所	(顧問)
副会長	金井宏彰	金井ホールディングス株式会社	(代表取締役)
〃	吉井満隆	バンドー化学株式会社	(取締役会長)
〃	藤嶋純子	株式会社フジ・データ・システム	(代表取締役社長)
〃	岡田兼明	大和産業株式会社	(代表取締役社長)
専務理事	神戸宏明	公益社団法人 兵庫工業会	(専務理事)
常務理事	川井論	公益社団法人 兵庫工業会	(常務理事 事務局長)
理事	金子敏之	株式会社IHI 相生事業所	(相生事業所長 兼 相生総務部長)
〃	千田伸二	株式会社アシックス	(副社長執行役員)
〃	阿比野剛	阿比野建設株式会社	(代表取締役会長)
〃	井上美智代	株式会社井上鉄工所	(代表取締役専務)
〃	伊福元彦	伊福精密株式会社	(代表取締役社長)
〃	大庫良一	オークラ輸送機株式会社	(代表取締役社長)
〃	山東要	大阪ガス株式会社	(理事 兵庫地区統括支配人)
〃	岡村武和	株式会社OKAMURA	(相談役)
〃	吉田修	音羽電機工業株式会社	(代表取締役会長)
〃	陰山聡	陰山電機株式会社	(代表取締役社長)
〃	加古泰三	株式会社カコテクノス	(代表取締役社長)
〃	高橋勝彦	カルモ鋳工株式会社	(常任顧問)
〃	河内信哉	川崎重工業株式会社	(総務本部 総務部長)
〃	久木元悦子	株式会社関西工事	(代表取締役)
〃	武市泰夫	関西電力株式会社 兵庫支社	(理事 兵庫支社長)
〃	頃安雅樹	K L A S S 株式会社	(代表取締役社長)
〃	尾上英雄	グローリー株式会社	(取締役副社長)
〃	上月安重郎	上月ウディックス株式会社	(代表取締役)
〃	中森慶太郎	株式会社神戸製鋼所	(執行役員)
〃	藤井稔	神戸大学大学院	(工学研究科長・工学部長)
〃	大前治久	株式会社コベルコ科研	(取締役常務執行役員)
〃	黒田直樹	三相電機株式会社	(代表取締役社長)
〃	石井康文	株式会社三和製作所	(代表取締役社長)
〃	平松慶大	ジェミックス株式会社	(代表取締役社長)
〃	小野隆	シスメックス株式会社	(取締役常務執行役員)
〃	清水泰司	株式会社シミズテック	(専務取締役)
〃	眞下忠	神港精機株式会社	(相談役)
〃	井上直也	新光電機株式会社	(代表取締役社長)

役職名	氏 名	会 社 名	役 職
理 事	徳 毛 裕 司	住友ゴム工業株式会社	(執行役員 人事総務本部長 兼 ビジネストランスフォーメーション本部長)
〃	番 所 利 行	株式会社洲本整備機製作所	(代表取締役社長)
〃	柴 田 勲	株式会社誠工社	(代表取締役社長)
〃	中 川 啓 之	第一熱研株式会社	(代表取締役社長)
〃	谷 口 晋 也	大和ハウス工業株式会社 神戸支店	(神戸支店長)
〃	瀧 川 松 平	滝川工業株式会社	(取締役社長)
〃	山 田 圭 祐	株式会社タクミナ	(代表取締役社長)
〃	上 村 賢 作	株式会社トーホー	(専務取締役)
〃	中 川 裕 子	日本ライニング工業株式会社	(代表取締役社長)
〃	安 藤 隆	株式会社布引製作所	(代表取締役社長)
〃	松 宮 雅 一	白鶴酒造株式会社	(執行役員 生産本部 副本部長)
〃	小 畑 克 弥	ハニー化成株式会社	(常務取締役)
〃	岡 本 孝 弘	菱井商事株式会社	(代表取締役社長)
〃	三 宅 智 章	姫路信用金庫	(理事長)
〃	畑 豊	兵庫県公立大学法人	(理事 兼 兵庫県立大学副学長)
〃	谷 口 幸 史	兵庫県中小企業団体中央会	(専務理事)
〃	阿 倉 和 哉	株式会社兵庫精密工業所	(代表取締役社長)
〃	宮 内 健三郎	福伸電機株式会社	(代表取締役社長)
〃	福 田 孝	株式会社福田博商店	(代表取締役社長)
〃	上 村 貴 典	古野電気株式会社	(執行役員 船用機器事業部 三木工場長)
〃	降 矢 寿 民	フルヤ工業株式会社	(代表取締役社長)
〃	友 藤 昇 平	兵神機械工業株式会社	(代表取締役社長)
〃	市 田 邦 洋	兵神装備株式会社	(代表取締役社長)
〃	竹 田 典 高	まねき食品株式会社	(代表取締役社長)
〃	酒 井 俊	株式会社三井住友銀行	(公共・金融法人部 部長)
〃	三 津 千久磨	ミツ精機株式会社	(代表取締役社長)
〃	江 村 治	三菱重工業株式会社 神戸造船所	(所 長 代 理)
〃	松 本 功	三菱電機株式会社 神戸製作所	(総 務 部 長)
〃	倉 本 信 二	三ツ星ベルト株式会社	(取締役常務執行役員 人事総務本部長)
〃	宮 脇 隆一郎	宮脇機械プラント株式会社	(最 高 顧 問)
〃	村 元 秀 士	株式会社村元工作所	(社 長 室 長)
〃	下土井 健 城	明興産業株式会社	(代表取締役社長)
〃	山 本 博 和	株式会社山本電機製作所	(代表取締役社長)
監 事	近 藤 輝	大王電機株式会社	(代表取締役社長)
〃	吉 田 洋二郎	長谷川電機工業株式会社	(代表取締役社長)
〃	一 二 三 隆	公益財団法人ひょうご産業活性化センター	(常務理事 兼 企画経営室長)

第13回産業論文コンクール入賞者一覧

◆最優秀賞◆

播州調味料株式会社 吉田 恭平 (よしだ きょうへい) 様

◆優秀賞◆

フルヤ工業株式会社 降矢 寿樹 (ふるや としき) 様

◆優良賞◆

株式会社広築 島 悠稀 (しま はるき) 様



<後列>
降矢さん・島さん
<前列>
中川副委員長・三宅会長・吉田さん・吉井副会長

令和8年度 創意工夫功労者賞受賞者一覧

令和8年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰は、下記の方々が受賞されました。

表彰された皆様は前年度「職域における創意工夫者表彰」知事賞受賞者の中から特に優秀な方々を兵庫県が推薦し、このたび受賞の運びとなりました。おめでとうございます。

グローリープロダクツ(株) 福崎工場	福永 享平
(株)シマブンコーポレーション 加古川事業所	野山 優也
日本製鉄(株) 技術開発本部	石川 龍人
日本製鉄(株) 技術開発本部	岡村 拓哉
日本製鉄(株) 技術開発本部	坂口 英人
ミツ精機(株) 郡家工場	天野 秀昭
三菱重工業(株) 神戸造船所	井 健嗣
三菱重工業(株) 高砂製作所	梅谷 俊毅
三菱重工業(株) 高砂製作所	谷川 洋
三菱電機(株) 電子通信システム製作所	越野 真
三菱電機(株) 電子通信システム製作所	西田 龍美

以上11名 企業名50音順 敬称略

令和8年度 兵庫県功労者表彰

兵庫県では、県政の伸展、公共の福祉増進に功労のあった方、その他広く県民の模範となった方を、知事が県民を代表して表彰しています。

本年度は、会員企業の4社の皆様が受賞されています。心よりお祝い申し上げます。

●産業振興功労

- ・阪神内燃機工業株式会社 代表取締役社長
- ・バンドー化学株式会社 取締役会長
- ・株式会社ユーシステム 代表取締役
- ・ロザイ工業株式会社 取締役 副社長執行役員

木下 和彦 氏
吉井 満隆 氏
佐伯 里香 氏
小林 洋介 氏

兵庫工業会

第13回産業論文コンクール

最優秀賞
論文

論題 「ものづくり企業の魅力とあるべき姿」 ～「共創文化の循環」を体現する、中堅社員としての私の使命～

播州調味料株式会社 研究部開発課 吉田 恭平



はじめに

皆さんは普段、お弁当をつくることがあるだろうか。私は妻と週の半分ずつを交代でつくっている。同じおかずが続くこともあれば、レシピ本を開いて新しいおかずに挑戦することもある。特に新しい料理に挑戦する時、レシピ通りに正確につくる私と、アレンジを加えたがる妻とでは仕上がりが少しずつ違う。けれど、その違いが食卓を豊かにしてくれる。この体験は、私が日々感じている「ものづくり」に通じるものがある。

私が考えるものづくり企業の魅力とは、単に製品をつくることではなく、自分の考えを形にし、それが世の中で役立つことである。その魅力を最大限に発揮するためには、社員同士が信頼し、協働し、そこから学び、挑戦を続け、再び信頼に還るという「共創文化の循環」が欠かせない。私はこの循環を「信頼 → 協働 → 学び → 挑戦 → 信頼」として捉え、この流れを絶やさずに回し続ける組織こそ、ものづくり企業のあるべき姿だと考えている。

経験を通じて学んだこと

私は2013年に播州調味料株式会社に入社し、最初の3年間は現場で研修を受けた。仕込み、ろ過、充填といった一連の工程を経験する中で、作業者一人ひとりの工夫や感覚が製品の品質を支えていることを実感した。その後は品質管理課で分析や工程管理を担当し、現在は開発課で試作対応や製造工程設計、営業同行などを行っている。現場・営業・顧客をつなぐ“中間点”としての立場から、ものづくり全体を俯瞰して関わるようになった。

こうした経験を通じて感じるのは、ものづくり企業とは「価値を生み出す協働の場」であるということだ。現場の知恵、開発の視点、営業の顧客理解、そしてお客様からの期待が重なり合う場所にこそ、新しい価値が生まれる。そのためにも、互いの立場を尊重し、信頼関係を築くことが欠かせない。

共創文化の必要性

当社はまもなく創業60年を迎えるが、設備の老朽化、人材不足、技術継承の難しさなど、課題も多い。こうした時期だからこそ「共創文化」を育てる必要があると感じている。単なる分業ではなく、信頼を基盤に部署や世代を超えて協働し、学び合い、挑戦を続けることでこそ、企業の持続的な成長が実現できる。

まず、信頼があるからこそ協働できる：信頼がなければ、率直に意見を交わすことはできない。相手の意図を理解し、誠実に耳を傾ける姿勢があるからこそ、協働は成り立つ。現場時代、私は包装室の水はけが悪く、乾燥に時間がかかることに悩んでいた。長年続く方法を変えられないと思い、改善を諦めかけていたが、設備保全担当に相談したところ、床の勾配を調整し、小型除湿機を追加してくれた。その結果、乾燥時間が短縮され、作業効率が向上した。今振り返ると、課題を共有せずにいたことが一番の問題だったと気づいた。信頼があるからこそ声を上げられ、共有があるからこそ改善が生まれる。信頼は、協働の出発点である。

協働から学びが生まれる：協働の中では、他者の視点に触れることで多くの気づきを得られる。例えば、タンクの点検で若手とベテランの判断が食い違ったことがあった。若手は「正常」、ベテランは「異常」と判定。話し合うと、ベテランは触診も併用して確認していたことがわかった。そこで点検方法を共有し、以後は若手も触診を取り入れるようになった。この経験から、協働の場こそが学びの宝庫であり、異なる視点の融合が組織全体の知を厚くするのだと実感した。

学びが挑戦を後押しする：学びを得ると、新たな挑戦に踏み出す勇気生まれる。開発課に配属された当初、粘性の高い液体の充填依頼を受けた。当社の設備では不可能と思われたが、液温を上げ、送液ラインを短くするなど条件を工夫した結果、充填を実現できた。この成功は、社内の技術的な自信を生み、次の開発にもつながった。挑戦とは、一人の努力ではなく、学びを共有できる組織風土が支えるものだと感じた。

挑戦の成果が信頼を深める：挑戦の成果は、たとえ小さくても「一緒にやれば成果が出る」という実感を仲間へ与える。その積み重ねが再び信頼を生み、協働を強化する。私の場合、粘性充填の試作案件において限界粘度を数値化し、今では「充填できる／できない」を明確に判断できるようになった。結果として、現場の負担が軽減し、営業や顧客への対応スピードも向上した。挑戦が信頼を生み、その信頼がさらに次の挑戦を呼ぶ。この循環こそ、共創文化の本質である。

中堅社員としての役割

中堅となった今、私はこの共創文化の循環を自らの行動で体現する立場にある。特に次の三点を意識している。

- 1. 橋渡し役としての協働**：現場・営業・開発をつなぎ、情報を共有しやすい環境を整えること。属人化しがちなデータやノウハウを整理し、誰でもアクセスできる仕組みを作ることで、組織全体の学びを促進している。相談を受けた際には、データや根拠をもとに説明し、対話を重ねることで信頼の橋を築いている。
- 2. 挑戦を後押しする文化づくり**：小さな改善や試みを積極的に認め、「挑戦が信頼につながる」ことを示すよう努めている。若手や他部署の提案に対しては「まずやってみよう」と背中を押し、結果も大切であるが、過程も重視してフィードバックする。失敗も共有し、次に生かす。特に失敗した場合はなぜ失敗したのかを考察して、次回への改善行動で示していきたい。
- 3. コスト意識の徹底**：開発の立場でも、ものづくりを持続させるには「稼ぐ力」が不可欠であると感じている。原料費の高騰やエネルギーコストを意識し、ムダを省きつつ挑戦を支える余力を生み出すことが中堅どころの責務と考える。コストを“削る”のではなく、“価値を生むために使う”という視点を持ち、現場と協働しながら改善を重ねたい。

目指す10年後の姿

私が描く10年後の職場は、「一人ひとりが自分の得意を活かしながら、チーム全体で成果を生み出す職場」である。年齢や立場を超えて意見を交わし合い、部署間の垣根を越えて協働できる風土を築きたい。そこでは、互いを尊重し、学び合い、挑戦する姿勢が自然に根づいている。

それは、冒頭で述べたお弁当づくりにも通じる。おかずの数を増やしたり、新しい味に挑戦したりすることで食事が豊かになるように、職場でも一人ひとりが工夫を重ね、知恵を持ち寄ることで組織全体が豊かに成長していく。お弁当を共に作る過程で互いの好みを理解し合うように、職場でも信頼関係を築き、協働を通じて学び合うことが、より良い「ものづくり」につながる。

お客様に向けた製品やサービスを磨くことと同じように、社内の信頼関係や価値観も磨き続けたい。どちらも人の手づくり、育てていく“ものづくり”である。その基盤となるのは、やはり人と人との信頼である。信頼があるからこそ協働が生まれ、協働が学びを育て、学びが挑戦を後押しする。そして挑戦の成果が再び信頼を深めていく。この好循環を守り育てていくことが、次の60年を支える礎になると信じている。

おわりに

ものづくり企業の魅力とは、単に製品を提供することではなく、人と人との信頼を起点に、価値を創り出すことである。信頼のもとに協働し、学び合い、挑戦を続ける。その積み重ねが企業文化を育み、未来を創る力になる。私はこの循環を絶やさずに回し続け、次の世代へとつなげていくことが、中堅として果たすべき使命であると考えている。

第1回 会員訪問・情報交換会

会員交流委員会では、会員企業を訪問して事業・製品を知り、共通の経営課題や悩み等について情報交換・意見交換を行う会員訪問・情報交換会事業を推進しています。

事業化初年度である2026年度の第1回目として、兵庫県たつの市に本社をおく、「天使のはね」ランドセルで知られる(株)セイバンを訪問いたしました。当日は、最新設備の工場見学や活発な情報交換が行われましたので、その概要を報告いたします。

- (1) 開催日 6月1日(月)
- (2) 開催場所 (株)セイバン 本社工場
- (3) 参加者 22社35名
- (4) 内容 交流会（会社概要説明、工場見学、情報交換会）、交流懇親会

・会社概要説明

泉社長のご挨拶に続いて、1919年（大正8年）の創業から100年を超える歴史や、2020年に新設された本社工場・「SEIBAN MUSEUM PARK」の設立経緯についてお聞きしました。

また、「想像を超えた“色どり”ある時間・空間・体験を創り出し、子どもたちの未来をつむいでいく」というビジョンについてもご説明いただき、ランドセル事業を軸に、近年ではバックパックブランド「MONOLITH」の展開や、保育園「セイバンスマイルこども園」の開園など、子どもたちの未来を多角的に支える事業を展開されていました。



会社概要説明

・工場見学

工場見学では、裁断からパーツ加工、組立に至る一貫生産の現場を見学しました。100以上ものパーツで構成されるランドセルの製造が、熟練の職人による手作業とデジタル技術を駆使した生産管理によって見事にコントロールされていました。

特に、「後工程はお客様」という品質方針に基づいた徹底した管理（ボールペンの色統一によるミス防止や最終外観確認の徹底など）は、多くの製造業会員にとって非常に参考となるものでした。

また、工場内が非常に清潔に保たれ、生産進捗が一般の見学者からも見学できる「オープンファクトリー」としての取り組みを実践されていました。



(株)セイバン本社工場前にて

・情報交換会

「生産効率化・業務効率化の取り組み」をテーマに、4つのグループに分かれて情報交換を実施しました。

各グループでは、標準時間の設定方法や当日欠勤への対応、多品種少量生産における人員配置など、具体的な課題について活発な議論が交わされ、参加者からは「普段接点のない企業とも深く話せて良い機会となった」、「他業種の取り組みを率直に聞いた点が良かった」、「テーマが深く、より深い議論を行うには時間が足りないと感じるほど充実していた」などの声が寄せられるなど、たいへん有意義な時間となりました。



グループ1



グループ2



グループ3



グループ4

情報交換会

・交流懇親会

情報交換会の熱気をそのままに、テーブルを越えて活発な挨拶や意見交換が行われ、会員同士のネットワークがより強固なものとなりました。

今回の会員企業訪問は、BtoCメーカーとしての見事なマーケティング戦略や、徹底した品質管理の現場を間近で見学できる、非常に刺激的な機会となりました。受け入れを快諾いただいた(株)セイバンの皆様、ならびに丁寧なご案内をいただいたご担当者様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

今後も本事業を通じて、会員企業同士が学び合い、高め合える場を提供してまいります。次回の開催（秋頃を予定）につきましても、皆様の積極的なご参加をお待ちしております。



交流懇親会

同会の様子は、6月4日付け日刊工業新聞の紙面にも掲載されました。

第22回 兵庫工業会 ゴルフ大会 2026

第22回兵庫工業会ゴルフ大会は、小野東洋ゴルフ倶楽部にて5月9日(土)に開催しました。今回は、9組35名の方にご参加いただきました。快晴の絶好のゴルフ日和のなか、日頃の腕を発揮され、楽しい1日となりました。

上位入賞者は以下の通りです。

☆優 勝☆ 上原 徹也 氏 (株)シンクスコーポレーション)

☆準 優 勝☆ 露口 浩 氏 (日清テクノス(株))

☆第 3 位☆ 和田 貴志 氏 (旭光電機(株))

☆ベストグロ賞☆ 降矢 寿民 氏 (フルヤ工業(株))

来年度もゴルフ大会を開催いたしますので、ご参加よろしくお願ひ申し上げます。



ラウンド前の集合写真



優勝者への賞品授与

女性会 講演会

女性会では、6月3日(水)、(株)チューガイ 専務取締役の松井様を講師にお迎えし、「シロアリについて学ぶ」をテーマにご講演いただきました。

会場はマリオットホテル17階のGRILL TABLE。神戸の美しい山並みや街並み、湊川神社を一望できる眺望豊かなお部屋で昼食をいただいた後、講演会を開催しました。

(株)チューガイは、姫路城のシロアリ防除工事に携わられた実績を持つ、シロアリ対策の専門企業です。日頃からシロアリの研究に継続的に取り組まれており、豊富な知識と経験に基づいたお話を伺うことができました。

講演では、シロアリの種類や生態について動画を交えながらご紹介いただき、実際の被害事例についても写真を用いて分かりやすく解説いただきました。また、シロアリの侵入経路や防除工事の内容についても、図や写真を用いて丁寧にご説明いただきました。

さらに、シロアリ被害を未然に防ぐためのポイントや、近年のシロアリ駆除における課題とその対策についてもお話しいたいただき、大変有意義な内容となりました。

質疑応答では参加者から多くの質問が寄せられ、活発な意見交換が行われるなど、終始和やかな雰囲気の中で学びの深い時間となりました。



昼食の様子



講演の様子

新 会 員 紹 介

アルネオソフトウェア株式会社

代表者 代表取締役 杉野 正一
所在地 〒661-0985
尼崎市南清水22-11
TEL 06-6147-6200
FAX 06-7739-1251
URL <https://aruneo.co.jp/>
資本金 10,000千円
従業員数 37名

■営業品目

思考特性分析、適性検査、業務システム開発・組織支援

■事業内容

当社は、メンタルモデル研究を基盤に、人の思考特性・行動特性を可視化する適性検査システムや業務システムの開発・運用を行っております。特に製造業のお客様に対し、現場課題の見える化や人材配置、業務効率化を支援する仕組みをご提供しております。また、神社向け崇敬者管理ソフトなど専門分野向けシステムの開発実績も有しております。今後も人と組織の成長に貢献できるサービス開発に取り組んでまいります。



ENTソリューションズ株式会社

代表者 代表取締役 畠山 淳史
所在地 〒671-1242
姫路市網干区浜田1616-1
TEL 079-271-5025
FAX 079-271-5026
URL <https://ent-jpn.com>
資本金 5,000千円
従業員数 10名

■営業品目

銅、アルミ、ステンレス、鉄などの卸売

■事業内容

当社は、金属スクラップの買取・回収・リサイクル事業を行っている会社です。国内外の幅広いネットワークを活かし、高品質なリサイクル資源を安定供給するとともに、適正処理と徹底した品質管理により、安心・安全なサービスを提供しています。また、工場などで発生する金属資源や不要設備の現金化にも対応し、お客様のニーズに合わせた迅速かつ柔軟な対応を強みとしております。今後もお客様との信頼関係を大切にし、社会に貢献できる企業を目指してまいります。



田中運送株式会社

代表者 代表取締役 田中 寿人
所在地 〒674-0051
明石市大久保町大窪709
TEL 078-936-2139
FAX 078-936-0178
URL <https://tanaka-unso.co.jp>
資本金 20,000千円
従業員数 40名

■営業品目

一般区域貨物自動車運送業、倉庫業

■事業内容

当社は、1956（昭和31）年創業、今年で70年を迎える自動車運送業です。主に建設機械部品・重量物の輸送を中心に、倉庫保管事業や特殊車両の先導・後方警戒などの輸送をトータルでサポートする事業を展開しています。私たち田中運送グループは単に物を運ぶだけでなく、安心と安全な輸送を徹底して行うことで顧客様・社会から信頼される企業になり更なる発展を目指します。



株式会社千代田精機

代表者 代表取締役社長 谷口 義博
所在地 〒653-0022
神戸市長田区東尻池町7-9-21
TEL 078-681-8844
FAX 078-681-8849
URL <https://www.chiyoda-seiki.co.jp/>
資本金 71,280千円
従業員数 189名

■営業品目

手動ガス溶接器、手動ガス切断器、自動ガス切断機、溶断用圧力調整器、高純度用圧力調整器、大型圧力調整器、半導体用圧力調整器、高圧用玉型弁、各種ガス気化器、各種ガス集合装置、分析用ガス供給装置、特殊ガス用供給装置、半自動切替式ガス供給装置、液化ガス用全自動切替式ガス供給装置、真空断熱配管、ガス混合装置、ガス加温器、乾式安全器、ガス節約器、ワンタッチ充填/供給装置、一般高圧ガス充填入設備等

■事業内容

各種高圧ガス制御機器の製造販売並びにガス制御システムの設計、施工、ガス溶断機器の製造販売



新 会 員 紹 介

特殊梯子製作所株式会社

代 表 者 執行役員 寺本 尚代
所 在 地 〒652-0866
神戸市兵庫区遠矢浜町4-13
T E L 078-652-0818
F A X 078-652-0825
U R L <https://super-ladder.co.jp>
資 本 金 3,000千円
従 業 員 数 20名

■営業品目

アルミニウム合金製の「はしご」の製造販売、アルミニウム合金による防犯・防災用品の製造・販売、各種建築資材の販売

■事業内容

当社は、アルミニウム合金製の特殊はしごや特殊用途向け作業台等の設計・製造・販売を行うメーカーです。鉄道車両用非常脱出はしご、避難用はしご、マンホール用はしごのほか、ロケットエンジン整備用作業台や新幹線フロントガラス交換台など、多様な現場に対応した製品を開発しています。また、顧客ニーズに応じたオーダーメイド製品にも対応しており、安全性・機能性・耐久性を重視したものづくりを通じて社会インフラ分野に貢献しています。



株式会社日本ワークプレイス関西 神戸事務所

代 表 者 代表取締役社長 平田 善之
所 在 地 650-0025
神戸市中央区相生町5-10-18
シティビル神戸6F
T E L 078-381-6605
F A X 078-381-6607
U R L <https://www.n-workplace-kansai.jp/>
資 本 金 20,000千円
従 業 員 数 13名

■営業品目

人材派遣、有料職業紹介

■事業内容

株式会社日本ワークプレイス関西は、製造・物流・サービス分野を中心に、兵庫・大阪をはじめ関西エリアに特化した人材派遣・職業紹介事業を展開しております。

企業様の多様な人材ニーズに対し、迅速かつ柔軟に対応できることを強みとし、採用支援から就業後のフォローまで一貫したサポートをご提供しております。

創業10年目の若輩企業ではございますが、地域企業の皆様の発展に貢献できるよう、社員一同誠心誠意努めてまいります。



会費に関する重要なお知らせ

会員の皆さまにおかれましては、平素より兵庫工業会の事業運営に対しまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当工業会では、1985年の創立時から40年にわたり年会費を据え置いてまいりましたが、収支の状況は厳しく、2025年度まで4年連続の赤字決算となりました。

この間、収入の確保ならびに経費節減に努めてまいりましたが、物価高騰による諸経費の増加もあり、持続可能な事業運営に向けて財政基盤を強化するため、2026年度より下記のとおり年会費の改定を実施させていただくこととなりました。

会員の皆さまにはご負担をおかけいたしますが、これを原資にさらなる活動強化や会員サービスの充実を図ってまいりますので、なにとぞご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※本件は、5月28日に開催されました第67回通常総会にて承認されたものです。

◆改定内容：年会費1口の金額を20,000円から25,000円に改定

◆改定期期：2026年度の年会費より

変化に挑戦

音羽電機工業株式会社

〒661-0976 尼崎市潮江5-6-20

TEL：06-6429-3541 / FAX：06-6426-0535

URL：https://www.otowadenki.co.jp/

代表取締役社長：吉田 厚

当社は1946年に京都で創業、日本で唯一の雷対策専門メーカーとして、「雷と共生する」を理念に掲げ、2026年5月に創業80年を迎えました。

当時はひとたび雷が鳴ると停電が起りましたが、自然災害だと責任を問われる事はありませんでした。そのような時、某電力会社様が研究されていた雷対策の発明品があり、弊社創業者がその特許権利を譲り受けたことを契機に、当社の主力製品である「高電圧用避雷器（アレスタ）」が誕生しました。

創業当時、これまでの避雷器は、海外、国内製品とも、信頼性がありませんでした。

紙とアルミを活用した画期的な製品であったため、量産化に向けた試作は苦労の連続でした。

又、「Pバルブアレスタ」と名づけられたこの製品を知る由もなく、電力会社に認知されるまでの10年間粘り強く全国を行脚し、次第に電力会社向けに採用されるようになりました。現在、避雷器は酸化亜鉛型となって配電柱に欠かせない存在となり、全国に設置され重要なインフラ設備や一般家屋を雷被害から守っています。雷は自然現象の1つであり、ひとたび被害が発生すると様々なところに影響を及ぼします。

時を経て2008年、兵庫県に「雷テクノロジーセンター」を開設、国内をはじめ、世界でも類を見ない雷を模擬的に発生させる試験器などを設置、雷ミュージアムを併設しました。開設以来、お客様からの受託試験や視察先としてご利用頂いております。

雷対策を考える時、「直撃雷」と「誘導雷」に分けて対策します。直撃雷とは、建物や樹木、海面への落雷を云い、建物への対策としては「避雷針」という受雷部を設置します。一方、誘導雷とは、近くに落雷した雷の電気が、電源線、通信線、アース線、電気の流れ易い処などを伝い、離れた建物や設備に間接的に流れ込む現象を云います。その対策として当社が製造する「避雷器」があります。避雷針は20m以上の建物に対して設置が義務付けられていますが、避雷器はJISでは推奨品とされています。近年では設備の自動化や電子化が進み、建物内のネットワーク化もされ、避雷器の導入は重要な対策の1つとなってきました。

私たちは、間接的に侵入してくる雷をどう逃がすか、その観点から「雷と共生する」という理念を掲げ、常に自然現象である雷と向き合い、研究開発を重ねてきた結果、今日まで歩むことが出来ました。

日本の平均気温は年々増加傾向にあり、その要因の1つに地球温暖化があるかもしれません。昨今は都市部を中心にアスファルトやコンクリートも増え、ヒートアイランド現象も増える傾向にあります。今後も気温は上昇傾向にあるため、暑さに対応していく事が求められます。

気温が上昇すると、それに伴い雷が発生しやすい状況になります。

今後人手不足も言われる中、工場ではロボットの活用、遠隔操作をはじめ、重要な生産ラインやインフラ設備、データセンターなど、雷から守るべき設備が増えてきました。

これらの設備にはICチップのような集積回路が多く使われており、雷の影響を受けやすい設備になりつつあるとも云えます。

最近では雷による事故も発生しており、危険を察知する事が重要です。大阪・関西万博会場のように人がたくさん集まる場所では、その場所が雷に対して危険が高まっているのかどうかを予知する必要がある、雷の接近を知らせる装置として、当社から「雷レーダー」を大阪・関西万博会場へ協賛をさせて頂きました。

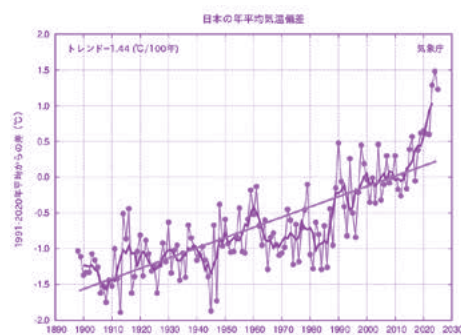
雷対策の専門メーカーだからこそ提案できる対策があります。これから益々進化していくネットワーク社会、データ社会において、重要なインフラ設備は増加傾向にあります。80年にわたる長年の対策ノウハウと共に「雷と共生する」を掲げ、チャレンジは最大の防御を念頭にこれからも変化する社会に必要とされ続ける企業を目指してまいります。



「創業当時の避雷器」



「現在の各種製品」



(出展：気象庁 HP)

兵庫テクニカルスクール 「電気電子工学コース」ご案内

電気・電子系技術者に必要な基礎知識と専門知識を学ぶ！

神戸教室では神戸大学の専任講師が、姫路教室では兵庫県立大学の専任講師が講義を担当し、専門的かつ分かりやすく解説します。

【神戸教室】9：00～17：00 定員 16名／兵庫県中央労働センター

会員企業：66,000円 非会員企業：99,000円

9/1(火) 電気回路 9/16(水) アナログ回路 9/18(金) デジタル回路

9/30(水) 電磁気学 10/7(水) 電気計測

神戸教室 TEL：078-361-5667

【姫路教室】9：00～17：00 定員 16名／姫路じばさんびる

スタンダードコース (5日間：8/20～9/17)

会員企業：66,000円 非会員企業：99,000円

エキスパートコース (8日間：8/20～10/9)

会員企業：92,400円 非会員企業：138,600円

8/20(木) 電気回路 8/27(木) 電気計測 9/3(木) 電磁気学

9/10(木)、17(木) 電子回路 9/24(木) アナログ回路実習

10/2(金) デジタル回路実習 10/9(金) マイコン実習

姫路教室 TEL：079-223-8230

詳細は兵庫工業会HPまたはQRコードまで

お申込みお待ちしております。



兵庫工業会ホームページに会員様の企業広告を掲載できます。



※広告をクリックするとHPへ移行いたします。

◆サイズ：縦：横 = 400px：580px **JPEG形式として**
容量 = Max 4MBまで

※アニメーション、ロールオーバー等画像が変化するものはご遠慮願います。
※広告デザイン等につきましては、広告主様で作成をお願い致します。

◆掲載期間・料金：1年 / 20,000円 (税別)

※掲載期間についてはホームページ掲載後1年とします。

◆詳細・お申し込みは右記QRコードまたはHPよりお願いいたします。



お申込
・
問合せ先

公益社団法人 兵庫工業会 事務局 (担当:岡、宮岸)

〒650-0011 神戸市中央区下山手通 6-3-28 兵庫県中央労働センター3階
TEL：078-361-5667 FAX：078-371-4336

会 員 動 向

代表者登録変更

会 員 名	新 登 録 者	旧 登 録 者	変 更 月
アルヴォス(株)	代表取締役社長 宮下 英樹	宮本 知治	2026年4月
コベルコ教習所(株) 明石教習センター	センター長 内藤 敦	土岐 吉輝	2026年4月
(株)シンクスコーポレーション	西日本事業部長 上原 徹也	齋藤 健太	2026年4月
神鋼商事(株) 神戸支社	神戸支社長 坂手 浩	渡辺 徳行	2026年4月
大成建設(株) 神戸支店	支店長 三宅 大介	櫻井 信一	2026年4月
中田エンジニアリング(株)	代表取締役社長 端山 伸介	岸上 康也	2026年4月
(株)日刊工業新聞社 神戸支局	支局長 香西 貴之	増田 泰久	2026年4月
日鉄テックスエンジ(株) 広畑支店	支店長 石田 桂一	黒住 政治	2026年4月
大島金属工業(株)	代表取締役 大島 孝仁	大島 孝一郎	2026年5月

代表者役職変更

会 員 名	新 役 職	旧 役 職	変 更 月
(株)ジャバラ	代表取締役社長 藤中 佑太	代表取締役専務	2026年3月
住友ゴム工業(株)	代表取締役 取締役会長 山本 悟	代表取締役社長	2026年3月

会員登録名変更

新 会 員 名	旧 会 員 名	変 更 月
カワサキテクノクリエイツ(株)	川崎エンジニアリング(株)	2026年4月

イ ベ ント 情 報

月 日	事業名・内容	場 所
8月25日(火)	第2回理事会・テクノフォーラム2026	ラッセホール
9月4日(金)~5日(土)	管理監督者研修	加古川プラザホテル
9月6日(日)~12日(土)	海外視察研修「インドものづくり視察研修」	デリー、アーメダバード、ベンガルール

公式SNSで情報発信中！
ぜひ、フォロー・ご登録ください！

Instagram →



兵庫工業会HP →



夏期休業の お知らせ

本会では、誠に勝手ながら8月11日(火)~8月16日(日)まで、夏期休業といたします。この間何かとご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

ご入会・セミナー・講演会・研修などのお問合せ・お申込みは…



公益社団法人
兵庫工業会

本 部
神戸事務所

〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター 3階
TEL 078(361)5667 / FAX 078(371)4336 / Eメールアドレス mail@hyogo-ia.or.jp
URL <http://www.hyogo-ia.or.jp>

姫路事務所

〒670-0962 姫路市南駅前町123 じばさんびる 3階
TEL 079(223)8230 / FAX 079(223)8231